

# 会員獲得とリーダー育成をどうするか 日視連青年協が研修会

日本視覚障害者団体連合 青年協議会（青年協、片平考美会長）は、2月23日、令和2年度 第2回社会対策研修会「全国青年部活動状況調査報告及び意見交換会」をオンラインで開催した。2020年に全国の当事者団体の青年部を対象に実施したアンケート結果の報告に続き、各団体の青年部の活動などについて参加者らが意見を交わした。（本誌）

## 青年部活動の活性化に向けて

日本視覚障害者団体連合（日視連）には、全国の都道府県や政令指定都市の視覚障害者福祉協会など60団体が加盟している。青年協は、その60団体の青年部によって構成されているが、近年では多くの団体で青年層の会員が減少しているといわれる。2019年に開催された第65回全国盲青年研修大会（三重県大会）の「組織改革」をテーマにした分科会でも、「青年層の会員（人材）の不足」「地域の青年層との関わりが薄い」といった課題と危機感が参加者のあいだで共有された。

これらを受けて青年協では、加盟団体を対象に「全国青年部活動状況調査アンケート」（以下、調査）を実施。「各団体の青年部活動活性化に向けた課題の明確化と改善策を共有」し、その結果を元に、今後の青年協の活動指針や全国の加盟団体の活動の方向性を再確認するとともに、「地域の団体の組織強化に向けて、抜本的な活動の見直し、各団体で青年部活動の意義を親団体と一緒に考えていきたい」という。